

日本IBMの PM コミュニティー活動のご紹介

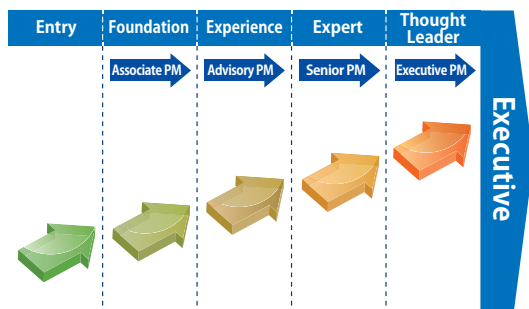
■ 日本IBMのプロフェッショナル制度

日本IBMではプロフェッショナル制度を採用し、職種ごとの能力審査を実施しています。プロジェクト・マネジャー職種の場合は、IBM標準のプロジェクト/プログラムマネジメント方法論とツールを理解し、実践の場で適用した実績を持ってレベルを取得する仕組みになっています(図1)。レベルは5段階で定義されており、上位レベルを取得するためには複雑な大規模プロジェクトやプログラムマネジメントの実績が必要となります。また、申請者は必ず上位レベルのメンターから指導を受けることが義務付けられています。この制度はIBMコーポレーション共通であり、レベルごとに定義されている要件や運営プロセスも世界共通となっています。

■ PM コミュニティー活動

IBM Japan PM Center of Excellence(以下 Japan PM/COE)は、組織を横断した日本IBM全体のPMコミュニティ活動をリードするバーチャル組織です。エグゼクティブのサポートを得て、PM プロフェッション・エグゼクティブ、PM プロフェッション・リーダーを中心に、各部門のPMリーダーと研修担当で構成されています。Japan PM/COEは日本IBMとグループ会社に所属するプロジェクト・マネジャーのスキル育成、プロフェッショナル制度のレベル取得推進、そして若手プロジェクト・マネジャーのパイプライン醸成に取り組んでいます。

図1. プロフェッショナル制度の5つのレベル



写真① 2014 第1回PMセミナーには500名以上が参加。プログラムマネジメントとWatsonを活用したゲノム医療の先進事例を紹介。

継続して知識習得の機会を提供するのも、Japan PM/COEの活動の一つです。グローバル共通の研修プログラムの他に、日本独自のイベントやセミナー、PMコンファレンスを定期的で開催しています(写真①)。

また、国内外のプロジェクトマネジメント関連団体における活動も、ネットワークと知見を広める上で有効と考えています。海外イベントにも毎年積極的に優秀なPM人材を派遣し、参加者は帰国後に習得した知識と経験をPMコミュニティ全体にフィードバックをしています(写真②)。

■ 上位プロジェクト・マネジャーによるギブバック活動

プロフェッショナル制度において上位レベルを取得したプロジェクト・マネジャーは、年間で決められた時間以上のコミュニティへの貢献活動を業務外で実施することが義務付けられています。IBMではこれを「ギブバック活動」と呼んでおり、PMコミュニティの活動はこれらのギブバック活動により支えられています。プロジェクト・マネジャー向け研修、セミナー、イベントの講師をはじめ、プロフェッショナル制度における下位レベル申請者へのメンタリング、そして審査もすべてギブバックによるものです。

今号でご紹介している社会貢献の講師活動(P.28参照)もギブバック活動の一つです。ギブバック活動は、プロジェクト・マネジャーのみならず、す



写真② 2013 PMI Global Congress in New Orleansに参加したプロジェクト・マネジャー、PMI Vice ChairのSteven DelGrosso氏とネットワーキング。

すべての職種によって実施されているIBMの企業文化とも言えます。上位レベルのプロジェクト・マネジャーが後進の育成に積極的に取り組むことで、IBMのプロジェクトマネジメントの知識体系や経験が伝承され、PMコミュニティが活性化すると考えています。

■ PMP合格コミュニティ

2011年より、PMI (Project Management Institute) 日本支部と連携して、PMIが主催する世界で最も普及しているプロジェクトマネジメントの認定資格であるPMP (Project Management

Professional) 取得を目指す社員向けのコミュニティを運営しています(写真③)。週に一度開催している勉強会は、講師のギブバックにより成り立っています。また、コミュニティ・メンバー同士が各自の学習計画を公開し、合格体験談を共有することで、モチベーションの維持に役立っています。このコミュニティから既に200名以上がPMPを取得しており、今後も継続して活動していく予定です。

■ プログラム・マネジャーの育成

近年IBMでは、グローバル・レベルでプログラム・マネジャーの育成と強化に取り組んでいます。Japan PM/COEでも、グローバルで開発されたプログラムマネジメント研修の日本展開や、有識者によるセミナーを開催し、プログラム・マネジャーの育成に取り組んでいるところです。プログラムマネジメントの知識エリアはプロジェクトマネジメントとは異なり、ガバナンスを重視しプロフィットを管理するなど、よりビジネス視点でのマネジメント力が求められます。お客様事業の成功に貢献できるプログラム・マネジャーの育成に継続して取り組んでまいります。



写真③ 2014 PMP合格コミュニティ キックオフに300名以上が参加。福本PMプロフェッション・エグゼクティブのメッセージに真剣に耳を傾ける参加者。